

全勤労大衆諸君ニ告げ!!

国立国会図書館

特501

623



* 0036768000 *

0036768-000

特501-623

全勤労大衆諸君ニ告げ!!

畠時夫・著

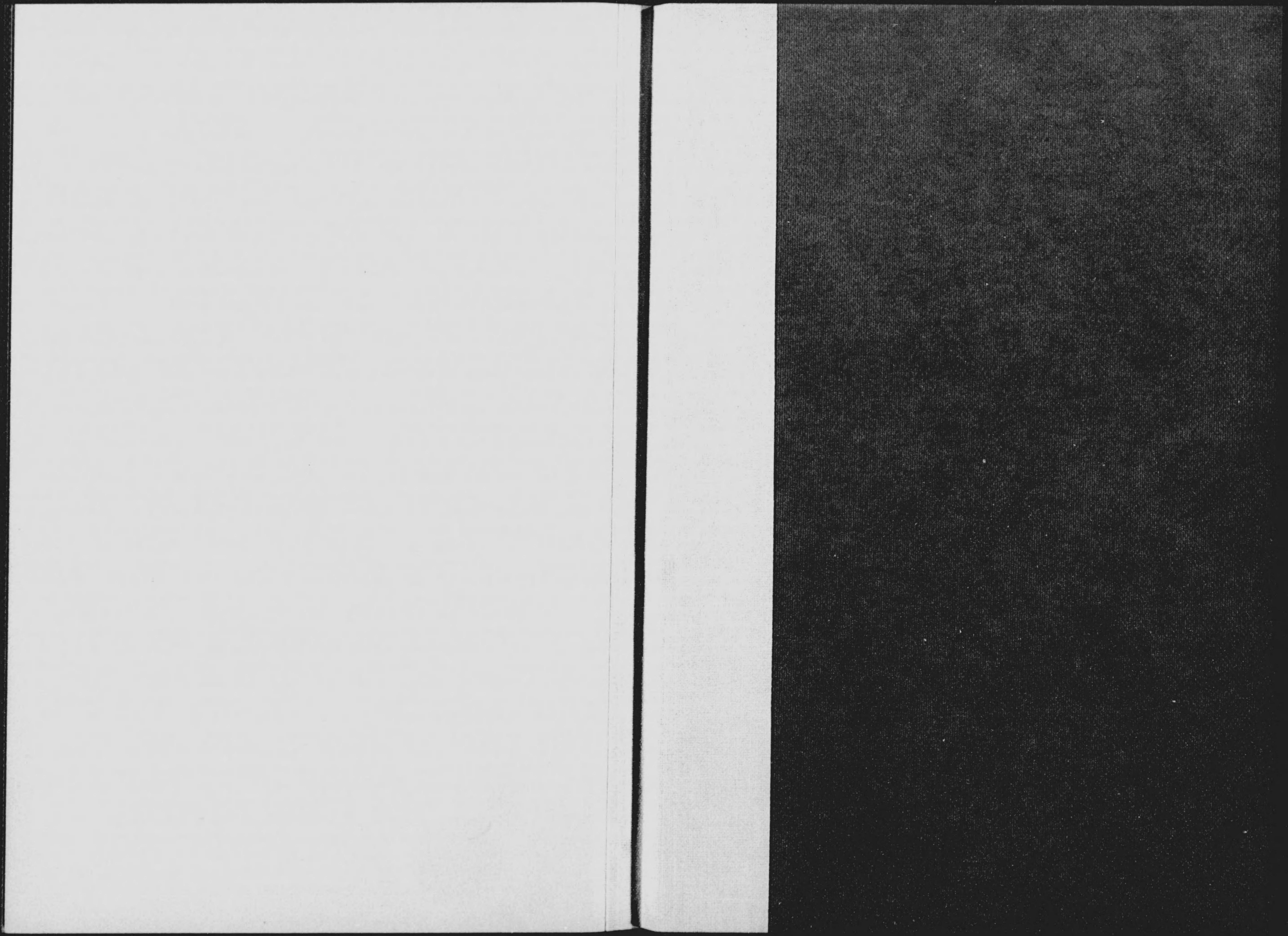
国民思想研究会

昭和9. 4

AGF

この著作物は、著作権者不明のため、著作権法
第67条の規定に基づき、平成12年3月23日
付けて文化庁長官の裁定を受け使用するものです。

2



沈印-67



國民思想研究會

全勤勞大衆諸君ニ告グ!!

4.10
禁止
大日本報刊
(西)



特501
623
補 1057
永久保存



全勤労大衆諸君に告ぐ!!!

時代の歴史的崩壊

諸君！ 今全世界は恐慌と不安の渦が捲いて、既存國家を存亡の十字路に立たせてゐる。この世界的恐慌と不安の根本原因は畢竟食ふ事の出来ない人間の社會的充満に在る。如何なる非常時も人間が飢餓の恐怖に優る非常時はあるまい。

成程、自由主義による處の近世資本主義は、驚くべきまでに全体的富を増大せしめた。

だが併し富を生産する云ふ事に於ては全智の神も跪くであらうけれども、折角生産したその富を全人類に分け與へる——即ち近代文化の恩恵に全人類を均霑せしめる分配機能に於て公平、平等を缺くの結果、富は一部に偏在し、不幸なる無產大衆の幾何級數的增加は、貧富両階級の對立的存在の線を益々濃くならしめたのである。之れに關する批難痛撃は此處に云々するまでもなく最早一個の社會的常識化されてゐる。

而して、資本主義が自由主義時代から獨占時代に發達するに及び、その体内に宿されてゐた社會的矛盾も漸く擴大化されるや、自らの手で墓穴を掘るの自壞作用を始めるに至り、世界に今日の斷末魔的な經濟恐慌を呼起すに至つたのである。

即ち今日の世界的經濟恐慌の嵐は、資本主義の自壞作用による處の不可避的に体験しなければならない世界の必然的運命だつたのだ。而してこの斷末魔的不景氣の克服の爲めに各國が死もの狂ひになつてなされた總ての工作も一にして止まらず物價調節、暴利取締、產業の合理化、高率關稅、金輸出禁止、第一次世界戰爭等々、しかしその悉くは反對の結果に終り、一九三三年六月十二日、六十四ヶ國代表が集合して開かれた、あの國際經濟會議の歴史的失敗等は、各國をして文句なしに、鎖國的、自給自足的經濟に押しやつて、世界經濟の前進は、事實上約一世紀餘の後退を餘儀なくさせ、十八世紀のマーカンティズムの眞唯中にまでも轉落するに至つてしまつたのである。

73W10085

如斯して、自由主義や國際主義の終息を暴露してからの世界經濟の動向は、國際的には鎖國主義へ、國內的には統制經濟的色彩を帯びるに至り、國民の生活は益々疲弊困憊し、失業者は無限に増大、且つ悠久化してきたのである。正に時代の歴史的崩壊が始められてゐるのだ。

而して次ぎの時代を建設する者は誰だ？ 誰でもない、全勤勞大衆諸君に外ならないのだ！。

東洋の危機!!

而して、今哉世界は恐慌克服に殘された最後の冒險を考へ出している。それは

『日本を叩潰して、支那を分割する』

即ちこれだ。

次の時代、新らたなる社會の建設を願はぬ者達に取つては、第二次的世界戰爭はさうしてもやらなければならぬ現實的恐慌打開策にのこされた最後の鍵なのだ。

勢の趣く處、転ては太平洋上の浪波荒れ狂ひ、支那全空は砲煙渦巻き、草木赤血に染つて、大地は徒に愛國者の血を貪り啜るだらう。併しだ、この愛國氏、勤勞大衆が身を犠牲にして戰ふ、世界戰爭は果して我々國民大衆の爲めに得る處がざれ丈けあるのだらう？ 勿論、今日の時代に於ては國家の存在なしには國民の幸福を考へる事が出來ない以上は、たゞへ身は屍化しても同胞の爲めに戦ひ勝たねばならない。だが戦ひにはよし勝つたとしても、後に残された同胞の最大多數は決して現在以上の利益は期待出來得ない。其の戦ひに依つて利益を受ける者は誰であつたかを過去の歴史によつて知る時、國民の血は冷たくなる。

各國の恐慌克服運動!!

米國のN・R・Aに依つて利益するもの？

併し、此處に至る迄には尙各國は國內的救護工作に懸命である。其の中でも、米國のN・R・A、伊國のファシズム運動、獨乙の國民運動、ソビエート聯邦の共產國家運動等は我等の注目に値するものがある。

が此處には伊、獨の國民社會主義、ファッショ運動、ソビエート聯邦の共產國家運動は暫く置き、我國

ミ社會的情態の最も相似てるる米國に於ける、國民産業復興法案に依る恐慌打開策を検討し、今漸く我

國の情勢が此處に至らんとする時にあたり、それを知る事に依つて、我々勤勞大衆の將來のべき態度の参考に資しよう。

即ち、かつては萬年景氣國として自他共に許されてきた彼も、資本主義の自壞作用に依つてなされたる不況の嵐には行ふに術もなく、一九一九年の『株式恐慌』を一轉期として加速度的に經濟的悪化の一途を辿り、遂に、『農村恐慌、銀行不信』等陸續として起り、悲惨なる現實の苦盃を舐るに至り、廣汎なる

そして深刻なる不景氣は『アメリカには一人たりとも飢ゑたる人が在つてはならない』と云ふ悲愴なる聲明を、新大統領就任の第一聲となさしめるの常態にまで立至らしめてしまつたのであつた。

富を抱いて不景氣に泣く。この矛盾は『信用の墜失による資本の失業』の結果に外ならない。產業界の萎縮は必然的に勞働賃金の低落と、失業者の増大を觀る。昨年四月初めに於ける全米失業者は政府筋の發表二百万人、労働局發表七百万人と謂はれ、又物價は慘落してゐるが、賃金安の爲めに國民の購買能力は弱る一方である。斯くては國家の存在も危ごして、さしもの米國政局も全國非常狀態の存在を公式に是認するに至つた。

斯くて大統領に、自由の誇を投出して未曾有の經濟的獨裁權を委ね、新設せられた國民産業復興法に依つて米國民は今血みどろになつて經濟恐慌克服の爲めに戰ひつゝある。では如何なるものだらう？

『N・R・Aの理論』——この理論には從來に於ける資本主義の根本的精神の組織的變更を要求し、統制經濟の思想が多分に盛られてゐる。即ち國家権力を以つて、企業の自由を束縛し、賃金、物價を統制して

獨占化されんとする利潤を取締り、又生産費の引下げに依つて原價を安くし、安價に物品を供給して、需要を促し、企業の勃興を促進するとの從來の常識を破つて、失業者の就職、労働賃金の引上げに依つて、國民の購買能力の増進を計り、企業の活動を促進せしめ、斯くて國民の購買能力を基礎づけて置いて、物價の吊上げを行ひ、不景氣を克服しやうとして、一意失業者の就職、賃金の引上げに、政府は幾多資本家の反対を押切つて、斷固たる確信の下に既にその政策を遂行しつゝある。

處が翕然として大衆の熱心なる支持を受けながらも、正に息絶ひんとする重病患者を蘇らせ得る、扁鵲の靈術を彼も又持合さぬかして、折角のN.R.A.の强行も、資本主義下に於ける計畫經濟が必然的に直面する矛盾を遺憾なく暴露して、労働者の賃金は吊上げられたが、時間の短縮に依る結果收入は却つて減つてゆき、批評家より『この新政策によつて、まづ利益を受ける者は、労働者に非ずして資本家である。資本家は自由自在にカルテルを運用して價格の吊上げを行つて利潤を得るが、労働者は賃金の騰つただけ物價騰貴に依つて得失は相殺されるだらう』との新政策發表當初に於ける批評を今では甘受する光榮に浴してゐる。然も總收入が減つて、物價が騰つては労働者は泣顔に蜂である。

畫餅を抱いて飢へに泣く、それが今日の米國の労働者だ。しかも希望をかけただけに、悩みは深く掘下けられて悲慘である。

又失業者の減少に於ては、昨年九月以降減少した失業者は僅に八十八万人、完全失業者今尙六百万乃至七百万人と謂ふ成績で、救はれた失業者も畢竟労働者の共喰でしかない有様なのである。

一方農村に於ては、農民の農產物價は、その購買物價に比らべて安過ぎて、N.R.A.に依つては救はれないのみか、農民生活は愈々窮迫するばかりで。遂に農民の不満が爆發してしまひ、あの全米農村罷業開始の宣言まで飛出してしまつたのである。

而して大勢は、N.R.A.の强行も何等なす處なく、商品の賣行は不振を極め、大衆の消費能力は加速度的に減退し、產業界の不振又悲惨。N.R.A.發表後一時好轉したかにみた經濟界も、昨年七月を轉期として、逆轉三轉、加ふるに大藏長官、ウディン、財政顧問スプレーグの辭職と云ふ政治的破綻は之れに拍車を加へ、最後の切札として世界に投げ出した『平價切下げ』も徒に國際市場を混迷の増壊に追込むに役立つのみで、財界不安の氣分濃厚となるばかりである。

而も資本家はN.R.A.の命令に従はない。爲めに、彼等の利潤慾の追求はなはだしくカルテルの應用に依つて自在に物價を吊上けるが、現實賃金は騰けやうともしないと云ふ。

斯くて、労働者の不満は隨所に爆發し、米國最高の勞資協調機關である全國勞働局の二月中旬に於ける發表によれば、昨年十月から二月中旬までに、同局が調停した労働爭議數百八十件に上ると謂ふ。

しかも其の後愈々労働者の不満は騰り、四月二十日の報導によれば、遂に、自動車會社が大罷業の口火を切つて各工場續々危険に瀕するとか、後ル大統領の仲裁で一事休戦したとは言へ全米漸く不満の聲に溢れ、妖雲下つて正に嵐を呼ぶの感である。

而して米國がこのN.R.A.の强行に完全に失敗し、見切をつけた時こそ、東洋に向つてあの完備した軍艦を動員して、太平洋の波を破つて、我れに發砲する秋ではあるまい。以上に依つて觀たるが如く米國のN.R.A.も畢竟、労働者、農民に取つては得る處はなく、全労働者の生活向上、失業者解消の大看板も、その裏を潜れば、勤労大衆に不利益な事ばかりである事を暴露し、尠かに我國の政治家の如く資本家の鼻呼吸のみ窺つて、國民今日の苦境を省みやうしないのに比して、時として資本家の反対をも省みず、その主張を通さうとする飛躍的態度を觀せて、彼等にも良心が有るごうなづかせただけである。

國防上より觀たる

勤労大衆の社會的生活

撲滅せよ惡資本家！ 組織せよ勤労大衆！

國家非常時といふ言葉は今日に於ては最早常套的までになり、この熾烈なる國家意識は種々なる方面に如實に反映してゐる。そうだ國家非常時といふ言葉は單なる概念の遊戯ではなく抽象的な問題でもない。今祖國日本に襲ひかぶさつてゐる切實なる現實の問題なんだ。國際的には一九三六年の危機、國內的には饑餓と失業と不安の充満、其の一として我々國民の樂觀を許さない。しかも非常時日本の支柱として眞に信頼するにたる何物もない現情を惟ふ時、冷汗三斗の思ひがする。各國は今日の非常時克服の爲めに時として資本家の反対をもしりぞけて、まがりなりにも懸命の努力を續けてゐ

るに、一人我國のみがこり残されて、『國民の自力更生』を呼んで、非常時に處する政治家は、自分ではさうする事も出來ない、こいふ事を自個暴露しながら營々として閣席にしがみ着いてゐる有様である。資本家は尙この非常時局に直面しながら營々として閣席にしがみ着いてゐる有様である。一致を叫ぶ時は、自個の利益が聊かでも不安を感じる時だけなのだ。その意味に於てのみ彼等は今日の非常時を認識し、その打開を叫ぶそれ以外は、國家非常時も單なる概念的抽象的言葉か一般を詐く詭辨でしかあり得ない。過日、矢作水力電氣の社長福澤駒吉が東京海上保險の各務に、あの函館の大火灾まで引起し、その慘害に全國の市民が同情の涙に袖を濡した大暴風を『誠に結構な暴風雨で』と挨拶し、長らくの渴水に困り切つてゐた、水力電氣が二十一日の豪雨で生き返つた事を報告し、又各務は函館の大火灾の爲めに保險の損害に仰天してゐたのだが、福澤の言葉の意味を知つてやつと納得出來たこの事である。彼等の眼中、市民の悲しみ、國家の憂ひの映じざるはこの一事を以つてするもあきらかである。一人、福澤や各務のみではない、この心情こそ全國の資本家が持つ心情に外ならないのだ。祖國を愛する人の痛憤これに過ぎたるものがあるだらうか？又國家が國際的危機に直面して國民生活の苦惱を忍ばせてまで軍備の充實に専念しつゝあるを、軍備景氣と稱して喜悅満面、彼等の遊里に投する金又多分云ふ。しかも彼等は口に國家非常時を呼び國家の軍備の爲めと稱して、労働者を酷使辛辣を極め、労働者の不遇を國家の名に口籍して顧みないこ云ふ。その報告は吾人のよく受ける處である。

而して將來この労働者の不満は何處に行き、何處に爆發する？過ぐる上海事變當時某地方出征兵士達の出征中取つた態度を思ふ時、一片冷極に『非國民』の名に於て痛撃も出來得ない彼等の心情である。我等は彼等をして、茲に至らしめた原因を研め、以つて將來かゝる徹を二度と歩まざる様になさなければならぬ。而してその原因是すでに我々の手に依つて研められてゐる。即ち茲に云々するまでもなく今日の資本制組織は幾多欠陥を暴露してゐる。而してこの欠陥より受ける×××は常に勤勞大衆、國民であり、この欠陥に依つて利益を受けるものは常に前述の如き似非國民資本家達なのである。しかも、この欠陥を暴露して資本家と鬭争を起さんとするや、戦は常に労働者の不利、而してかかる欠陥を指摘して制度の改造を要求せんか××××××××××××の恐れ無しこせず。期くて勤勞大衆は饑餓と失業と不安に怖ひへ、不満は体内に腐積せられて愛國者の名をさへ顧みず非國民的行動をさへ敢

てころにさへ至る。即ち國民大衆中より非國民を出だすは、一に今日の社會制度の欠陥に所以するのである。目捷にせまる國際的危機の秋にあたり、尙この幾多の欠陥を内藏する資本主義制度を國家の名に於て改造の一手も染めさせぬは、國防的見地よりするも、甚だ寒心に堪へざる處ではないか。兵士中より上海事變當時に於ける非國民を輩出するの危懼尙解消せず、皇道歴史三千年を誇る祖國將に危きかなである。國難は一人海からのみ來るものではない。過去の戰歴が雄辯に物語る如く、よく國難に殉じて今日祖國を大山の安きに置いたのは勤勞大衆の力である。この勤勞大衆を饑餓ご不安に怖ひへさせながら常に利益を意識して祖國愛を叫ぶ似非國民家達を安んぜしめる理由はない。かかる事には我々は断乎として反対であり、その改造を要求する。

我々の前には最早抽象的理論や、観念的机上の空論は無慘にも崩壊しなければならない。一個の英雄も必要こしない。自己の良心よりの躍動に依つて國家の客觀的歴史こ民族性を忘却して狂奔する。小兒病的共産主義者、徒に建國の精神のみを強呼する愛國者もいらない。社會民主主義者は資本主義社會の安全を全辨だ。我々には只無名の戦士の組織による實踐の力こ、眞に國家の支柱こなり得る、理論の支持のみを必要こする。

レニン一人では、あのロシアの革命も成功しなかつたらう。ヒトラーが如何に絶叫した處で勤勞大衆の支持を受けなかつたなら、今日の獨乙のあの目醒しい活躍はあり得ない。一人の英雄、一人の人格に依

つて世の中が救はれた事実などは何時の世にも見る事は出来ない。レニンやヒトラー又歴史を織る幾多の英雄は畢竟勤労大衆の意志の結び目であり、指導者であつたに過ぎない。彼等は勤労大衆のがツシリミスクラムされた上にのみ存在が許されてゐる。舊支配力の防衛陣をけちらして、輝やかしき新社會の建設、皇道耀として輝く新日本の建設は、力ある勤労大衆の組織的實踐であるのみだ。

勤労大衆よ組織を持て!!

今日の如き社會情態下に在つて眞に國家非常時を打開せんと欲すれば多少の犠牲あるは當然である犠牲なくして改造を欲求するなきは虫かよすぎる。而して組織の中に注結せられ舊奪打開、新日本建設の爲に戦ふ勤労大衆の鬪争は飽迄國民全體鬪争であるの故に國家はこれを是認し支援すべきである。これを支援する態度こそ眞の皇道の輝きを一層耀たるものとし心なき萬草も之れを悦び、斯くてこそ東洋の翻者、世界の日本としての誇りが在る。

勤労大衆よ！諸君等に荷せられた任務は大きい。まづ我々は組織權の國家的公認、生産支配機關への參與權——これは現下に於ける生産支配機關である株主總會、重役會議等に我々勤労者代表を参加せしめる事である——の獲得の要求に向つて鬪争せよ!!

全國家運動團体よ！末梢的黨派感情を解消して團結せよ！茲にのみ我等の明日への道があるのだ。

私が上述の如く大膽に現實の一片を暴露し勤労大衆に組織を要求する態度は、一に祖國が國際的危機を目撃に控へて、軀ては護國の鬼となるであらう、若き勤労大衆に後顧の慮のなき様にこの見地、今日祖國の民衆の經濟苦惱に痛ましくも、やつれはてた姿を觀るに忍びず、体内よりにじみでた愛國的正義觀に外ならない。國民の餓ゆる處國家の安康は有り得ない。しかも今日の社會組織の存續する限り國民をして、その疲弊困憊を悠久の淵に陥れてゆくは必然である事を認識する、即ち茲に社會の改造を叫ぶ所以である。

(昭九、三、二十五記)

〔不許複製〕

昭和九年四月一日印刷

昭和九年四月三日發行

著述者　　烟　　時　　夫

發行者　　大阪市西成區南神合町二〇

發行所　　大阪市西成區南神合町二〇

發行所　　國民思想研究會

印刷所　　本田印刷所

印刷所　　大阪市東區鎌屋町二丁目二四

市　　恒　　田　　本

(定價五十錢)

REGT-47

#345
Oct 1
1905

